

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成28年度 第8回 栃木東部地域会議
開催日時	平成29年3月22日 開会19時 閉会20時
開催場所	栃木市大宮公民館 大交流室
出席委員氏名	荒川 直巳、五十嵐 記代子、大橋 哲夫、荻島 哲、柏崎 章吉、 神田 誠司、竹澤 克元、内藤 實、埴生 才喜、藤本 紀子
欠席委員氏名	大山 恵久、柏崎 桂二、神戸 透、倉持 好則、武政 晃、谷中 俊太郎
事務局職員 職氏名	栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 出井 正一、 大宮公民館長 伏木 広安、国府公民館主査 毛塚 隆
その他 出席者等	公共施設再編課 課長 島田 隆夫、同課課長補佐 海老沼 博行、 同課主査 堀江 裕美
会議事項	・栃木市公共施設適正配置計画（案）について（情報提供） ・平成29年度の会議開催予定について
会議の公開又 は非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他 必要事項	

会議の経過

発言者・議題・発言内容・決定事項

1 開会 司会：出井 所長

2 あいさつ 柏崎 会長

3 議事

議 長 ・本日の出席委員数について、センターから報告願う。

センター・栃木東部地域会議の委員総数16名のところ、本日の出席委員は10名である。なお、大山委員、柏崎委員、神戸委員、武政委員からは会議その他所用のため欠席との連絡をいただいている。

議 長 ・全委員の過半数の出席であるため、本日の会議は成立している。

(1) 栃木市公共施設適正配置計画（案）について（情報提供）

議 長 ・センターから説明願う。

センター・本日は担当課の公共施設再編課から3名が出席されているので、説明をお願いしたい。

担当課 ・（資料「栃木市公共施設適正配置計画（案）」等に基づき説明）

議 長 ・何かご意見・ご質問があればお願いしたい。

委 員 ・資料66ページの市民ニーズに合わなくなった施設が956件というのはどういう施設のことか。

- 担当課 ・この設問は、具体的な施設のことではなくて、経費を削減するために削減してもよいと考える施設の種類を選ぶものになっている。
- 委員 ・具体的な例として、どういう施設のことが考えられるか。
- 担当課 ・例えば、農業系で農村整備のため、地域地場産業活性化のための集会施設として建てたが、地域の公民館として使用されているのが実状といった、設置目的に合っていない施設などが考えられる。
- 委員 ・アンケートの回答率が35%と少ない。30歳代までが17%、60歳以上が約30%というこの年齢差のあるアンケート結果を重視してよいのか。
- 担当課 ・年代別の意見を集約、分析している。また、地域別の意見も細かく分析して加味している。
- 委員 ・本市の人口1人あたりの総床面積はどのくらいか。
- 担当課 ・平成26年4月5日現在、3.59㎡である。全国平均3.42㎡よりも広い。同規模の自治体で合併有りは2.49㎡、合併無しは2.28㎡であることから、本市の施設は多いことが分かる。合併前の旧町でもそれぞれが施設を有していたので、多いという数字になってしまう。
- 委員 ・旧国府地区公民館は何にも使われていないようなので、恐らく雨漏りもしていると思う。早く解体してその跡地利用を考えていただきたい。
- 担当課 ・同所は敷地が広く、広い道路に面しているので立地的にもよい。現在は市役所の倉庫として一部を利用している。地元の皆さんと相談しながら使い方を検討していきたい。
- 委員 ・保育園自体の統合や保育園の民営化を進めて公共施設を減らすということだと思うが、学童保育施設などの需要が増えると思われる時に、これらの縮減について懸念する意見は他から出ていないか。
- 担当課 ・市で適正配置推進委員会を設置しており、その会議でも同様の意見が出た。保育園は藤岡が4つを1つに統合し、旧栃木市内も2つを1つに統合する。
民営化も縮減への一つの手法になる。学童保育のいくつかは学校の内部に入ってきている。少子化で学校内に余裕教室という形で空きスペースが生じている。そこに学童保育施設を入れることで、複合施設という形での縮減を目指す。
- 委員 ・担当課と推進委員会の関係はどのようなものか。推進委員会が担当課の主導的な立場になるのか。新しい施設を作るにはお金がかかるが、10年間の予算の見込があるのか心配だ。
- 担当課 ・古い建物、特に岩舟を除く各総合支所は昭和30年代の建物で、耐用年数は過ぎていて建て替えの時期に来ている。各地区の公民館も同様である。このような老朽化という物理的状況を最優先に考えている。建て替えるにしても、2つのものを1つにする。文化会館等は昭和の後期から平成の前期に建てられたもので、建物自体の耐用年数は来ていないが、屋根・外壁・給排水・電気・空調などの設備は耐用年数を過ぎているので大規模な改修を要し、多くのお金がかかると試算している。建て替え

と大規模改修のどちらが有効か積算はしていないが、これらを加味しながら統合へと進めたい。ちなみに、直営の岩舟を除く文化会館4館のランニング・コスト（維持管理費）は、修繕費は別で年間約1億5,000万円（指定管理者への委託料など）かかることも念頭に置かなければならない。

委員 ・支所でも戸籍が取れる時代になった。インターネットなどの電子機器にお金をかけているのに職員は減っていない。ただハコモノを減らすだけでは30年先の見通しが立たないのではないか。

担当課 ・職員の数については、平成26年に職員適正配置計画を作って、毎年職員の縮減に取り組んでいる。どうしてもお金がかかるのは人件費なので、建物と職員の適正配置は両輪で動いていかなければならないと考えている。

委員 ・建物も減らすだけではなくて、宇都宮や足利のように1,500から2,000人が入る文化的な核になる建物が必要だ。20年、30年先に何も無いのは可哀想だ。

担当課 ・資料の48ページで新しい施設を作ると説明したつもりだった。

委員 ・具体的にどの施設を無くすという段階になってから議論するのもよいのではないか。

担当課 ・本日は入口の部分として、施設を縮減するという方向の説明に参った。具体的にはこれからまさに地域会議の皆さんとの話し合いが必要なので、ご協力をお願いしたい。

（2）平成29年度の会議開催予定について

議長 ・センターから説明願う。

センター ・（資料2ページに基づいて説明）

議長 ・何かご意見・ご質問があればお願いしたい。

委員 ・11月の国府公民館の文字が太くなっているのは何か意味があるのか。

センター ・基本的には大宮と国府の公民館で交互に開催しているが、9月と11月は国府公民館が続くので、お間違いないよう太字にした。

（3）その他

議長 ・センターから説明願う。

センター ・（地域会議委員委嘱状交付式の日程について）

（平成29年度の地域予算提案限度額について）

（平成28年度の地域予算実施事業の広報とちぎ掲載について）

（まちづくり懇談会ふれあいトークの日程について）

議長 ・実働組織は国府地区まちづくり協議会で先に認定に向けて進めていく。

4 その他

センター ・次回会議は4月26日（水）午後7時から大宮公民館で開催する。

以上

